

(第3種郵便物認可)



# 母校の思い出

## あきる野 旧秋川高のOBら署名活動

卒業生らが保存を求めるメタセコイアの並木道(あきる野市提供)



東京で唯一の都立全寮制高校だった旧秋川高校(東京都あきる野市)の卒業生有志らが、敷地内に残るメタセコイアの並木を「母校が存在したことを示す唯一の証」として保存しようと署名活動を始めた。十一月まで続け、敷地を所有する都へ提出する予定だ。

(小松田健一)

## 九州北部豪雨もつすぐ1年

## 市百景に選定 メタセコイア300本

旧秋川高校は英国のバブリックススクールをモデルにした全寮制高校で、一九六五年に開校。メタセコイアは一期生が記念として百十本を植樹し、二〇〇一年の閉校後も伐採されずに残った。現在は高さ約三十メートル、

# 並木道を守れ

秋川高校 寮生活で規律を身に付け、卒業後も強く結び付く英国の中等教育学校「バブリックススクール」を日本で実現しようとして1965年開校し、09年、東京都立高校唯一に解体された。

に成長し、総延長三〇〇メートルの緑に包まれた美しい並木道をつくり出した。あきる野市が市内とにした。目標数は二千人で、卒業生や当時の教職員とその家族、友人、地元あきる野市民らへ呼び掛ける。「共同生活なので友人たちと接する時間が長く、他者を気遣う助け合いの精神が育まれ敷地外からしか見ることができない。敷地を管理する都財務局は「一団を終了後に並木をどうするかは決まっていなかった。市街化調整区域なので新しい建物は建てられず、市の意向を聞く必要がある」としている。

ただ、卒業生らはい「伐採が決まってからこれからも多くの人に動いても間に合わない」と見てもいい。

の全寮制男子校。生徒が校内の寮で寝食を共にし、勉学やスポーツへ集中できる環境を整えた。しかし、集団生活を敬遠する傾向が強まって志願者が減り、2001年に閉校。旧校舎はその後、三宅島噴火災害に伴う全島避難を受け三宅小、三宅中、三宅高校の臨時校舎に使われたが、09年に解体された。

秋葉原男性への勤務先

東京・秋葉原の雑ビルで男性が刃物で刺されて重傷を負った事件で、警視庁万世橋署は十七日までに、殺人未遂容疑で、この男性の勤務先の役員中島容疑者(三三)住所不明を逮捕した。また、署は事件の経緯を知っていたのに隠していた犯人隠避の疑いで、同社の代表取締役肥田健一(三三)を

母母殺害被告 懲役3年判決 心神喪失認めず

十九世帯(五十四人)。 県が発注する道路や河川、砂防の復旧工事でも、六百三十五件